

「あなたがたは神の神殿」 2025.08.24
コリント人へ手紙第一 3章10節～23節

はじめに

今年は、新約聖書「コリント人への手紙第一」から、みことばを学びます。

今朝は、3章10節から23節です。1章から取り上げられている「教会の分裂の危機」の続きをまだ扱っています。

ここでは、「教会は神殿である」ことを指摘し、その土台、建て方、聖霊の臨在、だれのものでもなくキリストのものであることを教えています。

私たちが川崎市で住んだ家は、床が傾いていました。そこで調べてもらうと、何と土台がブロック石の簡単な造りでした。そこで、年が経つとともに、家が傾いていたのです。

1 教会の土台はキリスト（10-15）。

9節で使徒パウロは、「あなたがたは神の建物」と言いました。教会が神の建物であることを教え、分裂問題の解決を示します。

（1）土台を据えた（10-11）。

建物である教会は、先ず土台を据えることから始まります。パウロは、自分は「賢い建築家のように、土台を据えました」と言っています。

教会の土台は、イエス・キリストです。教会は、何の上に建つべきなのでしょう。ペテロがイエス様に「あなたは神の子キリストです」と告白したとき、イエス様は、「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます」と言われました（マタイ 16:16-18）。

教会は、イエス・キリストという土台の上に建てられるのです。

適用：教会は、牧師や有力な信徒などの人間や、人間の方策の上に建てられてるものではありません。

（2）どのような建物を建てるか（12-15）。

土台を据えたなら、その上に家を建てるわけですが、

どのような材料を使って建てるかによって、家の強さが違います。その建物の真価は、火事が起きたときに分かります。パウロは、「金、銀、宝石、木、草、わらなどによって建てるなら」と言っていますが、それは、教会がどんな材料によって建てるかによって、その教会の真価が決まると教えました。

この材料とは、教え、あるいは信徒を指しているのでしょうか。正しい教え、しっかりした教えによって、信徒は育ちます。

「各人の働きは、その日がそれを明らかにします」と言っていますが(13)、牧師がどのような教会を建てるかについては、「その日」が明らかにします。今は、必ずしもわかりません。その日とは、キリストの再臨です。

教会が本物であるかどうかは、今の教会の状況でも、人間の評価でもありません。キリストの再臨の日に、燃え尽きてしまうような教会か、しっかりと残る教会かによって、真価は決まります。

「建物が残れば、その人は報いを受けます」(14)とありますが、伝道者、牧師の報いは、その教会が残るかかどうかです。

2 あなたがたは神の神殿(16-23)。

(1) あなたがたは神の神殿(16-17)。

これは、教会を指しています。6章19節では、神の神殿を個人と聖霊との関係で教えていますが、ここでは教会です。教会員は神の家を築いています。ペテロはこう教えています。「あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい」(1ペテロ 2:5)。

「神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか」と言っていますが(16)、教会は、御霊によって、神がいましたもう所です。神は、建物ではなく、神に選ばれた人の集まりである教会を神殿として、そこにおられるのです。

イエス様は、「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです」と言われましたが(マタイ 18:20)、信徒が集まる主の日の礼拝こそ、神がおられる所なのです。

「だれかが神の神殿をこわすなら、神がその人をされ

ます」とありますが、これはコリント教会の分裂を指しているのでしょうか。教会は聖なるものです。それは、神のものという意味です。自分たちが勝手に出来るものではありません。まして、教会をこわそうとすれば、神がその人を滅ぼされるのです。

(2) あなたがたはキリストのもの(18-23)。

コリント教会の分裂問題は、自分たちを知者だと思い、人間を誇ったことにその原因がありました。使徒パウロは、彼らが「アポロに」とか「パウロに」とか言っていることは、間違っていると教えました。なぜなら、「すべて はあなたがたのもの」なのです。コリント 教会が、アポロだ、パウロだ、ケパだと言って小さく固まってしまうのをパウロは恐れました。そうではない。「世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてはあなたがたのものです」(22)。

教会は、すべてを持っています。
「そして、あなたがたはキリストのものであり、キリストは神のものです」(23)。

キリスト者は、キリストのものです。教会もキリストのもの、神のものです。私たちは教会を自分の目的のために保有したり、使ったりすることは出来ません。このことを知ったら、争ったりは出来ないのです。

適用：さがみのキリスト教会は、牧師のものでも、長老のものでも、信徒のものでもありません。キリストのもの、神の教会です。

結論

使徒パウロは、コリント教会を分裂の危機から救うために、「十字架のことば」と「主を誇りとする」「御霊による神の知恵が必要であること」「成長させてくださるのは神であること」を教えてきました。

そして、ここでは、教会は「神の神殿であり、神の御霊の宿る聖なるもの、キリストのもの」であることを教えたのです。

教会は、すべてのものを持っています。なぜなら、キリストのものであり、神のものであるからです。

このような教会の一員とされている特権に感謝し、主をほめたたえましょう。

聖書が私たちに求めているのは、

- 1 神様がおられて、求める者には必ず応えてくださると信じること。
- 2 自分が神様に罪を犯していることを認めること。
- 3 イエス様が私たちの罪の身代わりとなって十字架にかかり死んでくださったこと、そして復活して、生きた救い主として私を迎えてくださることを信じること。
- 4 イエス様を信じるだけで、自分の罪が赦され、神様の子どもとして受け入れられることを信じること。

招きのことば

イエス様は、あなたの罪を赦すために、十字架におかかりになりました。あなたの罪を赦し、あなたが天国に行けるようになってほしいのです。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」

「見よ。わたしは戸のそとにたって叩く。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」